

# 「経団連観光インターンシップ」について

2015年11月

経団連 産業政策本部

# 1. 趣旨、経緯

1. 観光立国の実現が政府の成長戦略の重要な柱の1つとして位置づけられるなか、観光産業の将来を担う人材の育成は急務。
2. 経団連観光委員会では、具体的な人材開発プロジェクトを推進するため、2011年4月より立教大学、2014年4月より首都大学東京と連携して、幅広い関連業種企業の参加の下、「経団連観光インターンシップ」を開講。
3. 狭義の観光業（宿泊業、旅行業など）の枠にとどまらず、観光への企業の多様な関わり方を学ぶことを目的。  
 受入先において、商業施設内でのインバウンド受入れ補助、博物館や工場でのイベント企画などの実習を実施。

## 2. 協力企業(2015年度)

(カッコ内は実際の受入先。☆は立教・首都大ともに参加)

アサヒグループホールディングス(アサヒビールコミュニケーションズ)

☆味の素(味の素、味の素コミュニケーションズ)

☆ANAホールディングス(ANAセールス、ANA総合研究所)

近畿日本ツーリスト

博報堂

☆東日本旅客鉄道(鉄道博物館、東京モルール、びゅうトラベルサービス、日本ホテル)

☆三井不動産(三井不動産商業マネジメント、三井不動産ホテルマネジメント)

☆三菱UFJニコス

☆森トラスト・ホテルズ&リゾーツ

☆ヤマト運輸

# 3. 対象

## 1. 立教大学

観光学部3年生

20名程度(各社1～2名程度の受入れ)

(2015年度 21名、2014年度 23名、2013年度 24名)

## 2. 首都大学東京

都市環境学部3年生 自然・文化ツーリズムコース、観光経営副専攻コース履修者  
大学院観光科学博士課程前期1年生

10名程度(各社1～2名程度の受入れ)

(2015年度 10名、2014年度 12名)

## 4. 授業内容、期間

